



銀板ノ中龍ノ形ヲ打テ
出シタル四形ナレバ固龍
ト云フ

洋紙ハ洋紙ナリ然レモ
ト云フ故キヨリ未ル以下
ニ洋紙ニテノ皆ナ洋紙ナリ

114
A1786



議 鑄 銀 圓
中 華 之 紋 實 外 國 之 洋 紙 八 固 ヨリ 並 行
則 子 洋 紙 以 之 之 思 之 取 携 之 便 行
國 同 之 カ ラ ス 其 通 行 之 美 國 之 最 ナ リ ト 爲 ス
現 二 通 工 貿 易 洋 紙 冠 ス ル 一 ノ 英 字 子 子
以 テ ス ル 八 職 ト シ テ 是 が 故 ナリ 而 シ テ 歐 亞
ノ 西 洲 特 二 英 法 普 美 ノ ミ ニ 微 ラ ス 即 子 俄
羅 斯 日 本 亦 均 ノ 是 ノ 製 マリ 中 國 八 及 テ 故
知 二 屬 ス 現 在 直 督 李 中 堂 議 メ 津 ニ 就 テ
開 辦 セ ン 一 ヲ 奏 聞 セ ン ト 欲 ス 式 樣 ヲ 考 酌
ス ル 二 東 洋 銀 板 ノ 中 二 團 龍 ヲ 用 キ ル 制 度
頗 我 朝 卜 相 合 フ ヲ 以 テ 日 前 日 本 領 事 池

大 天
限 正
候 十 一 年 四 月
寄 附



田寛治ニ聆シ曾テ是ノ議アリ 鑄洋ノ器具
ハ東洋ヨリ辦シ未ラント擬ス並ニ東洋ノ工匠
ヲ備用シテ陰鑄鼓鑄セント欲スト或ハ謂フ
工匠器具ノ列ルヲ俟テ齊ク當ニエラ興ス可シ
ト特ニ並ニ未タ明文アルヲ見カレハ未タ敢テ以
テ實ト為サス然リ而シテ言者ハ則チ一ニ確鑿
ノ據ル可キアルニ似タリ其分兩ハ英洋ヲ按照
ルニ俵レリ元毎トニ計ルニ重サ七錢二分ト云フ
按スルニ英洋ノ輕重ハ香港等ノ處ニ在リニ皆
七錢二分ヲ以テ的ト為ス滬上ハ則チ七錢三分
ヲ以テ的ト為ス而シテ或ハ實ニ重サ七錢四分ト
謂フ者アリ是レ則チ秤ニ大小ノ同ニカラサル在
リテ斯ノ洋モ亦少ク之ニ隨テ輕重アル也

喜聞中國將鑄銀圓消息

昨日ノ申報ニ天津ヨリ傳ハ來ル信息ヲ述
ヘテ中國將ニ自ラ銀圓ヲ鑄ルノ舉マラシ
トス曾テ李伯相ノ議ヲ行テ東洋銀圓ノ式ニ
仿ヒ并ニ東洋ノ工匠ヲ招雇シテ鼓鑄セント擬
スル等ヲ謂ヘリ因テ尙シ竟リテ歡躍ニ禁ム
ス數年未ダ庫篋屢々此ノ論ヲ倡ヘ諸ヲ報章
ニ登セシカ因カラサリキ今日此消息アラントハ若シ
果シテ議ヲ定メテ之ヲ行ハ則チ將未銀圓ノ
中外ニ流通スル甚利窮リ無ク且ツ民間ノ便
益少ナカラス即チ銅錢ヲ銷燬シテ市面ノ運
用極メテ難キトアルモ亦少ク此ニ藉テ補救ス可
シ蓋シ既ニ銀圓ヲ鑄ルハ必ス僅カニ大圓ヲ鑄ル

洋銀ノ一ナリ
衆ラ者キタルモ
對開ヲ四返ニ志ハトスルハ
所カシ
底ハ倍倍ノ不評 音テキ
只是錢ナリ

ノミナラスメ對開四開八開ノ洋モ亦將ニ多ク鑄
テ以テ民間錢ヲ携ルノ苦ニ代ヘ而シテ陰ニ以テ
錢底ノ缺ヲ補ハントスルナリ近來銅錢ノ日ニ少ク銀
價ノ日ニ賤キハ皆ナ奸人内ニ在リテ暗ニ國寶ヲ毀
チ私ニ砂錢ヲ鑄ルガ故ニ縁ル砂錢ノ機和スル
アレハ官乃チ之ヲ禁セサルヲ得ス官私鑄ヲ禁シ
テ錢底甚タ缺テ運用ニ足ラサレハ則チ市上ノ
銀價賤カラサル能ハス苟クモ錢ノ多カラシム欲セ
ハ必ス私毀ヲ稽査シテ嚴ニ之ヲ懲サン既ニ查ス
ル能ハスニハ銅ヲ開テ鼓鑄スルニ如クハ無シ然レニ
雲南ノ礦務目前必ク興辦スル能ハス故ニ權力
アルモノモ亦夕法ノ設ク可キ無キニ苦シム而シテ李
伯相乃チ見此ニ及ニ自カラ銀回ヲ鑄ルヲ以テ

通盤計算トハ
人計ナリ然ラバ通ス意ナ
リ

補救ノ方トナス誠ニ今日國ヲ利シ民ニ便スル
ノ大政ナリ吾儕小人ガ前日ノ言ヲ虚シフセサ
ルナリ但中國ノ積弊就テ之ヲ言ハ此ノ一舉
ハ尚ホ手ヲ指クニ難キトアルニ似タリ必ス通盤計
算ニテ以テ弊絶ヘ夙清キヲ期シ而テ沒利以テ
言フ可キナリ何ントヤレハ中國ノ人情ハ外洋
ノ如クナラス吾恐ラクハ斯ノ議甫テ定リテ官鑄
ノ回尚ホ未タ天下ニ徧ネカラスミテ私鑄スルモノ已
ニ市面ニ盈タシ其弊一ナリ銀回ニ等分アリト雖モ
銀價ハ自カラ漲落アリテ百里ノ内價一ナル能ハス
奸商利ヲ牟ヒ王章ヲ顧ルナリ罔クシテ民間實ニ
其ノ苦ヲ受ク其弊ニナリ銀回ノ用既ニ行ハレテ
錢ヲ携フルニ重キヲ嫌ヒ故ニ四開八開ノ洋ヲ携

錢
自

人洋ノ金銀狗頭幣ハ其
銀ノ形ヲカキテ狗頭ノ形ハ其
銀ノ面ノ模様ナリニ 島洋ノ
幣日ハ其銀ノ形ヲカキテ
モ亦ク其模様ヲ指スコロ
一枚トハ一枚ハ銀幣ナリナリ

フレハ則チ錢ハ零星補找ノ用ニ止マリ銀圓ヲ以テ
千餘錢ニ易ルモノナケレハ奸人數ヲ毀テテ器ヲ作
レハ其利ノ三倍スルヨリ此ヲ藉テ收斂ミテ恣意
ニ煨造セザルモノアラニヤ恐ラクハ錢底愈々其欲クル
ヲ形ハサシ其弊三ナリ此ノ三弊アレハ則チ此ノ事
還瀆ラク躊躇スヘシ在初法ヲ立ルノ先ニ能ク全島
ヲ統籌スレハ則チ既ニ行フノ後發實以テ蓋ク除
ク可シ慎ニテ輕易ニ之ヲ舉クル勿カレナリ夫レ私鑄
ノ一端ハ外國ヲ以テスラモ猶ホ此風アリ況ニヤ中
國ノ人情ヲマヤ中國ニ外洋ノ銀圓ヲ用ルルモ尚
ホ其式樣ニ仿ヒテ之ヲ為ス精鑿者ニ非サレハ辨セ
ズ人洋ノ臺狗頭幣島洋ノ幣日粗視スレハ一枚
ニ出ルガ如ク細辨スレ乃チ是ニ非サルヲ知ル又或ハ

啞本ハ要本ナリ銀質
ワロキヲカキテ花粒ハ其
ヲ増スカキ板ハ其
ノ銀錢ヲカキテ分明ナリ

假印トハ極中ナリコレは文
那ニテ人民ノ信ヲ失フカ
ヲ打ケテニ通用セシメテ
ノ如クナリ

英文ノ辨錯ヨリレテ啞本^{花粒}夾銅^{土板}錢市因
係利ヲ為ス愚民實ニ其ノ欺ヲ受ク中國之ヲ鑄
ルガ如キハ則チ式樣愈々相襲フ可ク詭詐百端混
淆日ニ甚シク害僅カニ外洋ノ銀圓ヲ用ルルノ日ニ
止マラサルモノアルハ弊ノ必ス至ル所ナリ且ツ弊ノ國
中ニ在ルハ僅カニ民ノ累ヲ為ス苟クモ外國ニ流出スル
ノ銀圓ニ偶銅質ヲ參エラテハ豈ニ其テ國ノ耻タ
ラズヤ吾謂ラク銀ト銅トハ質モト輕重アリ苟クモ參
エルニ銅ヲ以テスレハ必ス輕分釐ヲ輕クセン既ニ每枚
七錢三分或ハ七錢二分ニ定ムレハ則チ新舊ヲ論ス
ル無ク皆テ當ニ此ヲ以テ準ト為スヘシ且ツ鑄成ノ後
天下ニ通飾シ凡ソ市上民間ニ銀圓ヲ用ルルモノハ
輒チ假印ヲ加フルヲ准サス以テ花粒^{跌價}ノ弊ヲ

目方ヲ減クヌ^{ト云フ}去水
ト云フ^{ハ洋銀ノ性ヨリ見行}
ハ洋銀ノ性ヨリ見行
ト云フ

一千六百八十七錢三分
スレハ市チ一千六百八十八
洋銀ナリ

杜カンモミ偶々花糖アレハ即チ行用セズ錢業中
ヲ洋色ヲ看テ去水ノ工夫ヲ端セシムルモ以テ用ナル
無カル可シ而シテ市面ノ出入ハ一概ニ淨光櫃工
収兌スル皆チ分兩ヲ稱カリ稍盈蝕アレハ銅質ノ
多アルト即チ立ドゴロニ辨セシ是レ又宜シク一定ノ腔
式アルヘシ而シ没以テ輕重ヲ權カル可シ外國人洋
ノ大小板アルガ如クナル可カラサルナリ此ノ如クナレハ
則チ私鑄スルモ利スル所無クシテ鑿除リ可キナリ
價目ニ至リテハ則チ銀四ハ式ヲ異ニシテ以テ民
便スルニ過キス原ヨリ值ヲ昂ノルヲ欲スルニ非サルナリ
宜シク先ツ銀價ヲ定メ天下ヲシテ皆チ同シカラシ
ムベシ國ヲ七錢三分ニ定ムル片ハ譬ヘハ銀ノ值一千
六百文ノキハ昂チ一千一百六十八文ニ兌スルガ如シ此ノ

省ノ民資ヲ携ヘテ他ノ省ニ適クモ便宜ノ欲虧ヲ致
スナケレハ則チ錢市ノ鬼域伎倆モ自カラ施ス可キナシ
蓋シ外洋ヨリ来タル盈虛ノ數ハ惟市上ノミ之ヲ知レリ
多クハ則チ跌落シ少キハ則チ増漲シ市僧以テ權
ヲ操ル可シ且ツ此風ノ端ヲ肇ムルハ皆チ洋銀ノ初メ
テ中國ニ入りシ時中國ノ銀ニ昂過セシニ由ル然レ後相
沿フテ習ト成ル假令ニ初メテ洋銀ヲ用ナルモ昂
官ヨリ價ヲ定メ分兩ヲ照ラシテ銀ト相準セシムレハ亦
何リ此レ有ニ至ラニ哉今中國ヨリ之ヲ鑄レハ則チ官
局價ヲ定メテ但固ノ真ト不真トヲ辨シテ銀ト同ト
ノ純レ多純レ少キヲ潤ハス奸民銷毀シテ以テ之ヲ
激シテ昂カラシメ富商散出シテ以テ之ヲ逼テ幾カラ
シムルト夫ノ大ニ看シテ多ヲ賭シ空ヲ賭シ一言

繳ハ返ナリ解ハ兌換
ナレハニ字ヲ併セテ返納
スル
此錢ヲ以テ以テトナシ
此錢ヲ以テ移シテ他處
入ノ銀ヲ受領スルノ款ニ振
向ケテ銀ニ抵テトナリ

允諾スレハ千萬輸贏スルモ皆ナ弊ナカル可シ而シ
テ貧民且ツ蔵耗ノ苦ナク成テ困ヲ用テルヲ棄テテ
以テ者便ヲ貧ラシ如此ナレハ市凡整ヒテ契除ク
可キナリ銀四ハ必ス官局ヨリ鑄成シ市上ニ行用
スルハ必ス官局ニ向テ買兌ス而シテ官局鑄四ノ銀
ハ必シモ市上ニ向テ收買セズ銀四流通スレハ銀漸ク
少ク小四盛ニ行ハルハ則チ錢益少シ大ニ慮カル可
キナリ宜シク或チ錢市ニ責ム可シ凡リ局ニ向テ四
ヲ兌スルハ概メ銅錢ヲ納レシノ或ハ錢票ヲ以テス
役ニ繳解スヘキ片ハ必ス數ヲ定シテ完納セシム頃刻
ヲ緩メス則チ錢市局中ノ催取ヲ顧慮シテ必ス
預シメ錢本ヲ留メシ官局ハ則チ此錢ヲ以テ移
シテ庫銀ヲ領スルハ款ニ尅向ヒテ以テ銀ニ抵テ錢ヲ

抵ハ抵当ノ意味ヨリ採用スルモノ

シテ仍ホ民間ニ流レシム而シテ又嚴ニ銅作諸鋪ニ極
銷毀シテ造ヲ造ルヲ准ヤス此ノ法三年ヲ限トシ
限滿ルノ後ニ民間ヲ駭ルニ仍ホ錢ヲ廢セズ六則チ
此ノ禁ヲ弛ム可シ又或ハ四ヲ鑄ルノ後ハ四ヲ酌量
ニ場ヲ用テ若干ヲ鑄ルモ即チ用ニ足ダケニシテ此
停止セシメ太タ多カラシメズハ亦夕以テ錢ヲ廢スルノ契
ヲ防リ可キナリ凡ソ此ノ三音大節目ニシテ若シ夫レ開
鑄ノ章程官局ノ利契ハ時ニ隨テ整頓スルハ自カ
ラ主持者ニ在リ之ヲ要スルニ中國ニテ一率ノヲ倡奉
スルハ之ヲ他國ニ較フレハ難シトナス苟クモ人ノ之ヲ
阻撓スル無クハ自カウ日ニ起色アル可シ願フ所
ハ此ノ信息ノ確實ニシテ必ク率ノ竟ニ成ラシム

